

(明治三十二年五月八日第三種郵便物認可)(毎月四日十四日廿四日三回發行)

# 縣報

第四十三號

明治卅四年六月十四日

## 和歌山縣

### ○縣令

○和歌山縣令第三十七號

明治三十年<sup>十二</sup>月 和歌山縣令第八十七號市町村傳染病豫防費補助規程第一條中地方稅トアル

又縣稅ト改メ第二條ヲ左ノ通改正シ第四條ノ次ニ第五條ヲ追加ス

明治三十四年六月十一日

和歌山縣知事 椿 葵一郎

市町村傳染病豫防費補助規程

第二條 前條ノ支出ニ伴フ收入又ハ補助金寄附金等アルトキハ支出總額ヨリ之ヲ控除シ補

助歩合ヲ計算ス

第五條 市町村ヨリ申請セル支出精算額過當ト認ムルトキハ之ヲ査定シ其額ニ對シ第一條

ノ歩合ニ依リ計算シテ補助スルコトアルヘシ

縣報第四十三號

明治三十四年六月十四日

第三種郵便物認可

二

○訓令

○和歌山縣訓令甲第三十五號

陸軍召集條例第七十三條ノ簡閱點呼場區域及日割左ノ如シ

但簡閱點呼場區域及日割表ハ別ニ頒ツ

明治三十四年六月十日

警察署  
同分署

和歌山縣知事

椿 泰一郎

縣報第四十三號

明治三十四年六月十四日

第三種郵便物認可

二四

○和歌山縣訓令甲第二十六號

郡 役 所  
市 役 所  
町 村 役 場  
縣 農 會  
郡 農 會  
町 村 農 會

近來各郡トモ苗代ニ浮塵子及螟蟲發生ノ趣追々其報告ニ接スルモ尙報告以外ニ發生セシ箇所モ尠カラサル由ナルニ動モスレハ之カ驅除ニ從事セサル向少カラサル由相聞候右ハ不都合ノ次第ニ有之若シ此際苗代ニ於テ十分ニ驅除ヲ爲サレハ本田移植後ニ於テハ最モ困難ヲ極メ終ニ救フヘカラサルヤモ難測實ニ寒心ノ至ニ堪エス候條此際一般ニ驅除豫防ヲ行ハシメ可成之カ執行後ニアラサレハ插秧ニ着手セサル等諸事不都合ナキ様十分注意セラルハシ

但害蟲發生ノ有無至急調査シ速ニ之カ驅除ヲ爲サシムルト同時ニ成規ニ據リ其實況直ニ報告スヘシ

明治三十四年六月十一日

和歌山縣知事

椿

素一 郎

明治三十四年六月十四日

麻生山田村

第一號

（The main body of the page contains extremely faint and illegible text, likely bleed-through from the reverse side of the paper. The text is arranged in vertical columns within a rectangular border.)

○告 示

○和歌山縣告示第百十九號

第二回物産共進會ニツキ各都市ニ委員ヲ設ケ左ノ事務ヲ處理セシム

明治三十四年六月三日

和歌山縣知事 椿 茶一郎

一各郡市内ニ於ケル出品物ノ運送陳列保護及ヒ賣買約定ニ關スルコ

但組合等ヨリ特ニ惣代人ヲ出シタル出品ノ買約ハ此限リニアラス

○和歌山縣告示第百二十號

客年十二月本縣告示第百二十一號ヲ以テ告示シタル兵庫縣ニ於ケル船舶檢疫ハ客月二十

五日限廢止スル旨通知アリタリ

同年同月同號ヲ以テ告示シタル徳島岡山兩縣ニ於ケル船舶檢疫ハ客月三十一日限廢止スル

旨通知アリタリ

同年同月本縣告示第百二十七號ヲ以テ告示シタル船舶檢疫箇所中今般左記各港ニ於ケル

檢疫ヲ廢止スル旨通知アリタリ

山口縣

玖珂郡新湊港 佐波郡三田尻港 阿武郡新川口港

福岡縣

福岡市博多港 築上郡宇島港 三潁郡若津港

佐賀縣

東松浦郡唐津港

同年同月同號ヲ以テ告示シタル高知縣ニ於ケル船舶檢疫ハ客月二十五日限廢止シタル旨通知アリタリ

同年同月本縣告示第二百三十一號ヲ以テ告示シタル神奈川縣ニ於ケル船舶檢疫ハ客月三十一日限廢止シタル旨通知アリタリ

明治三十四年六月四日

○和歌山縣告示第百二十一號

沖繩縣ヨリ左記ノ縣令發布ノ旨通知アリタリ

明治三十四年六月四日

沖繩縣令第十五號

明治三十一年內務省令第六號神社寺院祠宇佛堂其他宗教ノ宣布又ハ宗教上ノ儀式執行ヲ目的トスル法人及團體ニシテ觀覽科寄附金負債募集ニ關スル願届手續左ノ通相定ム

明治三十四年五月十七日

第一條 省令第二條ノ願書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 觀覽場所

一 觀覽物品

一 觀覽料金額

和歌山縣知事

椿 兼一郎

和歌山縣知事

椿 兼一郎

沖繩縣知事 男爵 奈良原 繁



一 觀覽料徴收ノ事由

一 觀覽期限

一 觀覽人心得

第二條 省令第三條第四條ノ願書ニハ同第五條ニ掲ケアル事項ノ外尙左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 募集金收支豫算書

一 工事ニ係ルモノハ仕様書及圖面

第三條 他廳府縣ノ者ニシテ省令第三條第四條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケ本縣下ニ於テ

其募集ニ從事セントスルトキハ願書及其指令寫ヲ添ヘ間切島役場郡區役所島廳ヲ經由シ

當廳ヘ届出ツヘシ其募集事項變更ノ許可ヲ受ケタルトキ亦同シ

第四條 省令第七條ニ依リ募集ノ許可ヲ受ケタル者他人ヲシテ其募集ニ從事セシメントス

ルトキハ其認可願ニ募集願書及指令寫ヲ添付スヘシ

第五條 郡區長嶋司前各條ノ願書ヲ受理シタルトキハ其事實及身元ノ確否ヲ調査シ更ニ意

見書ヲ付シ進達スヘシ

第六條 前各條ノ願書ニシテ神社ニ係ルモノハ神職氏子信徒總代寺院佛堂ニ係ルモノハ住

職檀信徒總代本寺法類連署シ管長ノ副署ヲ添付シ間切島役場郡區役所島廳ヲ經由差出ス

ヘシ

第七條 觀覽料及寄附金又ハ負債募集ノ許可ヲ受ケタルモノハ其募集行爲着手前願書及指

令書ヲ行爲地ノ警察官吏ニ呈示シ檢閲ヲ受クヘシ

○和歌山縣告示第百二十二號

第二回本縣物産共進會出品人心得別冊之通相定ム

明治三十四年六月五日

和歌山縣知事

椿 兼一郎

(別冊)

出品人心得

第一條 出品目錄ヲ差出シタル以上ハ變更取消等ヲ爲サ、ル様注意シ香味光澤ヲ失スル物及鼠害又ハ濕潤ヲ受クル物等ハ其保護ヲ怠ルヘカラス

第二條 酒、醬油、酢及水産物中加工調味品ノ如キモノハ從來往々出品人ニ於テ各自其容器ノ外飾箱等ヲ用キシモノアリシカ本會ニ相當ノ設備アルヲ以テ右等ノナキヲ要ス、但醬油ノ如キ細小ナル出品物ニシテ飾箱ヲ要スルモノハ其寸法設計ヲ具シ本會ノ許可ヲ受クヘシ

第三條 陳列場ニハ各自額面又ハ「フラー」等掲出スルヲ得ス

但會場ノ裝飾ニ關シ必要アリト認メタルトキハ特ニ許可スルコトアルヘシ

第四條 出品中審査ノ爲メ消耗又ハ減少シタルモノハ賣品授受ノ際相當割引ヲナスコトアルヘシ

前項ノ取扱ハ第九條ノ惣代又ハ郡市委員之ヲカス

第五條 酒、醬油、酢ノ出品ニ空樽ヲ添出セシムルハ其包装ヲ表示スルノ旨趣ナルヲ以テ一戸數種ノ出品ヲ爲ストキト雖モ其空樽ハ各戸一個トス



一生糸

百斤

一蠟

百斤

一清酒

壹石

一醬油

壹石

一酢

壹石

一氷豆腐

壹箱又ハ壹籠

一木材

尺ノ

一水産物

目方ヲ以テ賣買スルモノハ百斤又ハ十ノ目

○和歌山縣告示第百二十三號

第二回本縣物産共進會賣店規則別冊之通相定ム

明治三十四年六月五日

和歌山縣知事

椿

茶一郎

(別冊)

賣店規則

第一條 本會用地内ニ於テ賣店ヲ設ケント欲スル者ハ販賣品ノ種類及家作之設計書(圖面)取添ヘ本年七月三十一日限リ郡市役所ヲ經テ本會事務所ヘ願出スヘシ

但本文ノ許可ハ時宜ニ依リ本會ノ出品種類又ハ出品人ニ限ルコアルヘシ

第二條 前條許可ヲ與ヘタルモノト雖モ出願多數ナルモハ設計ヲ變更セシムルコアルヘシ

第三條 賣店ニ供スヘキ敷地ハ無料ニテ使用セシム

第四條 設計ノ變更及裝飾ハ事務所ノ認可ヲ受クヘシ

第五條 賣品ニハ正價札ヲ付スヘシ之ヲ付シ難キモノハ店頭見易キ場所ニ正價表ヲ掲クヘシ

第六條 賣店開設人若クハ雇人ハ強テ物品ノ購買ヲ促スコトヲ得ス

第七條 賣店及其周閉並通路ハ常ニ清潔ニ掃除スヘシ

第八條 賣店ニハ晝夜相當ノ看守人ヲ置キ火氣其他嚴密ニ取締ヲナスヘシ

但看守人ノ外宿泊セシムヘカラス

第九條 賣店ノ開設時間ハ毎日午前八時ヨリ午後九時迄トス但時宜ニ依リ伸縮スルコトアル

ヘシ

第十條 賣店ハ引續三日以上休業スルトキハ許可ヲ取消スルコトアルヘシ

第十一條 賣店ハ本會開設ノ當日ヨリ閉場後十日マテ開店スルコトヲ許ス但閉店ノ后十日以

内ニ取拂事務所ノ檢査ヲ受クヘシ

第十二條 營業ニ關スル諸般ノ法規又ハ本規則ニ背戾スルモノハ賣店ノ開設ヲ停止若クハ閉

店ヲ命スルコトアルヘシ

第十三條 賣店ノ賣上數量及金高ハ閉店后事務所ヘ届出ツベシ

○和歌山縣告示第百二十四號

客年十二月本縣告示第百二十一號第百二十七號第百三十一號及第百三十八號ヲ以

テ告示シタル左ノ廳府縣ニ於ケル船舶檢疫ハ客月限廢止ノ旨通知アリタリ

明治三十四年六月五日

和歌山縣知事

椿 兼一郎

警視廳

大坂府

香川縣

廣島縣

三重縣

愛知縣

熊本縣

○和歌山縣告示第百二十五號

兵庫縣神戸市榮町四丁目三番地

平民

柳谷金次郎

和歌山縣西牟婁郡東富田村大字朝來歸二十七番地平民

宮本三之助

右ノ者今般外務大臣ヨリ縣下西牟婁郡田邊町大字片町厚生移民株式會社移民取扱業務代理人トシテ許可ナリタリ

明治三十四年六月六日

和歌山縣知事

椿 藁一郎

○和歌山縣告示第百二十六號

兵庫縣朝來郡竹田村ニ於テ客月二十一日午一頭氣腫疽ニ罹リ斃死セシ旨通知アリタリ

明治三十四年六月八日

和歌山縣知事

椿 藁一郎

○和歌山縣告示第百二十七號

左ノ警視廳令發布ノ旨通知アリタリ

明治三十四年六月十一日

和歌山縣知事

椿 藁一郎

警視廳令第四十二號

明治三十四年三月三十一日 警視廳令第十二號中第八項遮斷延長地域第十一項遮斷延長地域及第十三項ヲ削除ス

明治三十四年六月四日

警視總監

大浦兼武

警視廳令第四十二號ノ參照

警視廳令第十二號抄錄

牛疫豫防ノ爲メ左地域内ハ牛羊豕ノ出入往來並病毒傳播ノ疑アル物品ノ運搬ヲ停止ス

一藥王寺前町五十番地前通ヨリ市ヶ谷台羽坂下リ中央幼年學校前外廓ニ沿ヒ陸軍士官學

校前通市ヶ谷見附外濠端廻リ直線牛込警察署角ヲ左へ神樂坂ヲ上リ牛込肴町巡查派出所

ニ至ル地域内

一八幡三番地以西八木三十一番地ニ至リ大通八幡一番地及大横七十九番地角ヨリ以西八幡

北裏通大横七十番地及六十八番地角ヨリ以西平岡通ニ至ル地域内

一麻布區鳥居坂ヲ上リ六本木通ヲ左へ材木町新道通リヲ左へ霞町ヲ經テ筈町筈川ニ出テ左

へ同川ニ沿ヒ下筈橋ヲ渡リ北條坂ヲ上リ元遮斷區域ニ入り仙臺坂下山本町ヲ左へ坂下町

通リ宮下巡查派出所ヲ左へ鳥居坂ニ至ル地域内

○正 誤

本年五月縣令第三十六號中左ノ通り正誤ス

明治三十四年六月六日

和歌山縣

西川 東内原村大字東光寺ハ東内原村大字萩原字東光寺ノ誤リ

内ノ井川 鮎川村大字鮎川ハ鮎川村日置川ハ富田川ノ誤リ

龜川 服部橋ハ羽鳥橋ノ誤ヲ  
 本年六月和歌山縣訓令甲第三十四號和歌山縣會計事務規程中改正及追加中左ノ通正誤ス  
 明治三十四年六月十日 和歌山縣

頁	紙	課	正
表	紙	和歌山訓令	和歌山縣訓令
二頁	十二行	規程	規定
三頁	四行	旅費、	旅費ノ
二十二頁	一行	至同年	至同何年
三十四頁	十三行	付	付
三十九頁	四行	拂下	實拂
四十二頁	十一行	收額	實收額

明治三十三年五月八日第三種郵便物認可 (毎月四日十四日廿四日三回發行)

明治三十四年六月十三日印刷 (壹頁價銀金)  
 明治三十四年六月十四日發行 (一厘五毛)

和歌山縣

印刷人 和歌山市九番丁九寶地 前川 初之助